

令和6年度公益財団法人書道芸術院事業計画大綱

I 事業の状況

1 『公1』 「書」に関する展覧会の開催

「書」に関する展覧会については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1) 第78回書道芸術院展 (併催 第76回全国学生書道展)

- 1) 会 期 令和7年2月5日(水)～2月11日(火・祝)
- 2) 会 場 上野 東京都美術館
- 3) 募集規定 (作品募集規定による)
- 4) ア.書類・作品搬入 無鑑査・一般 令和6年11月26日(火)
イ.鑑別・審査 無鑑査・一般 令和6年12月7日(土)
12月8日(日)

- ◎褒賞 無鑑査
1. 院賞 (各部) 若干名
 1. 毎日新聞社賞 (各部) 若干名
 1. 特選 (各部) 若干名
 1. 秀作 (各部) 若干名

一般公募 入選作品の中から審査して次の賞を与える。

1. 準特選 (各部) 若干名
1. 佳作 (各部) 若干名
1. 褒状 (各部) 若干名

- ウ.書類搬入 審査会員・審査会員候補 令和7年1月17日(金)
エ.作品搬入 令和7年1月27日(月)
オ.審 査 特別賞選考(審査会員候補) 令和7年1月28日(火)
特別賞選考(審査会員) 令和7年1月29日(水)

◎褒賞 審査会員に対する賞

(名誉会員、参与会員、理事、監事、参事で過去の理事、監事経験者及び、過去の受賞者を除く)

1. 書道芸術院春華賞 (各部を通して) 1名

審査会員候補に対する賞

1. 書道芸術院大賞 1名
1. 書道芸術院準大賞 (各部を通して) 5名
1. 白雪紅梅賞 (各部を通して) 若干名
1. 書道芸術院俊英賞 (各部を通して) 若干名

- カ.陳列 令和7年2月4日(火) 9:30～(東京都美術館)
15:00～評論家の眼
15:30～記者会見
- キ.撤回 令和7年2月11日(火・祝) 14:00～
- ク.搬出 令和7年2月12日(水) 9:30～
- 5) 作品研究会
令和7年2月5日(水) 14:00～東京都美術館
(一般無鑑査入賞者)
令和7年2月9日(日) 10:00～東京都美術館
(役員作品・大作作品)
- 6) 席上揮毫 大賞準大賞受賞者による席上揮毫
- 7) 表彰式 令和7年2月8日(土) 15:30～上野精養軒
- 8) 祝賀会 令和7年2月8日(土) 17:30～上野精養軒
- 9) 作品出品サイズ(単位 cm)(全て以内寸法とする)
1. 財団理事・監事(仕上がり寸法)
A 91×242 B 152×152 C 121×182
 2. 財団評議員・参事／審査会員(仕上がり寸法)
D 61×242 E 79×182 F 85×176
G 106×136 H 121×121
 3. 審査会員候補(仕上がり寸法)
161×182 J 73×152 K 91×121 L 105×105
 4. 無鑑査(未表装本紙寸法)
M 46×167 N 86×86
 5. 一般公募(未表装本紙寸法)
O 35×136 P 25×167 Q 65×86
 6. 篆刻作品(仕上がり額寸法)
R 30×39
 7. 刻字作品(作品寸法)
S 51×61 T 30×91 U 35×67.5
- 10) 一般公募出品料
- | | |
|----------------------|--------|
| 1. 30歳以上 | 7,000円 |
| 2. 30歳未満(令和7年1月1日現在) | 3,000円 |
| 3. 70歳以上(令和7年1月1日現在) | 3,000円 |
- 11) 運営委員会 運営委員長 下谷洋子
運営委員 理事・監事全員
- 12) 実行委員長 小竹石雲
実行副委員長 後藤大峰 千葉蒼玄
- 13) 事務局長 片岡豪峰 事務局次長 佐藤菜扇 大内熒軒

- 14) 部長 総務部長 都丸みどり 審査部長 山口仙草
陳列部長 三浦鄭街 表彰部長 前田龍雲
会計部長 木原尚子

併催 第76回全国学生書道展

- 1) 会期 令和7年2月5日(水)～2月11日(火・祝)
- 2) 会場 上野 東京都美術館
- 3) 募集規定ア. 出品資格 第1部 幼児・小学生 第2部 中学生
第3部 高校生 第4部 大学生・専門学校生
イ. 参加要領 (作品募集規定による)
ウ. 作品受付 令和6年10月23日(水) 書道芸術院事務所
エ. 審査 令和6年10月30日(水) A賞選考(事務所)
令和6年10月31日(木) A賞審査(文具会館)
令和6年11月2日(土) 中央審査(事務所)
令和6年11月3日(日) 中央審査(事務所)
令和6年11月4日(月) 中央審査(事務所)
オ. 褒賞 A. 個人賞 B. 団体賞
カ. 陳列 令和7年2月4日(火) 東京都美術館
キ. 席上揮毫(全国学生書道展会場)
令和7年2月8日(土) 10:00～
ク. ワークショップ(全国学生書道展会場)
令和7年2月9日(日) 13:00～
ケ. 表彰式 令和7年2月8日(土) 13:00～上野精養軒
コ. 撤回搬出 令和7年2月11日(火・祝) 14:00～
- 4) 審査役員 A賞審査員、A賞選考委員、中央審査員
- 5) 運営委員長 下谷洋子
- 6) 実行委員長 千葉蒼玄
- 7) 事務局 片岡豪峰 事務局次長 佐藤菜扇 大内熒軒
- 8) 部長 総務部長 藤村昌子 審査部長 半田藤扇
表彰部長 倉林紅瑤 揮毫部長 大平邑峰
陳列部長 三浦鄭街 席上揮毫担当 川島舟錦
会計部長 木原尚子
- 9) 指導者作品展示
ア. 出品資格 本展出品指導者・「書道芸術学生版」指導者
書道芸術院審査会員
イ. 会期 令和7年2月5日(水)～2月11日(火・祝)
ウ. 会場 東京都美術館
エ. 作品寸法 半紙額内タテヨコ自由(単位 cm) 50×38以内

オ. 出品料 15,000 円

(2) 書道芸術院秋季展 併催 書道芸術院前衛書展

- 1) 会 期 令和6年10月8日(火)～10月13日(日)
- 2) 会 場 セントラルミュージアム銀座(紙パルプ会館5階)
アートサロン毎日(竹橋)
- 3) 出品者 A. 名誉会員、参与会員(選抜)
B. 財団役員他
C. 審査会員選抜作家
D. 新審査会員
E. 審査会員候補(公募)
◎褒賞 秋季菊花賞(若干名) 秋季俊英賞(若干名)
- 4) 出品料 A. 3万円 B. 7万円 C. 3万円 D. 3万円
E. 鑑別料 2点まで5千円(1点でも5千円)
入賞者は出品料 3万円
- 5) 出品締切り 令和6年8月1日(木)
- 6) 秋季展出品者作品下見会 令和6年8月6日(火)
- 6) 公募作品審査 令和6年8月22日(木)
- 7) 陳 列 令和6年10月7日(月)
- 8) 表彰式・研究会 令和6年10月12日(土)
- 9) 出品者懇親会 令和6年10月12日(土) 会費5000円
- 9) 撤 回 令和6年10月13日(日)
- 10) 実行委員長 後藤大峰

併催『書道芸術院前衛書展』

- 1) 会 期 令和6年10月8日(火)～10月13日(日) 14時まで
- 2) 会 場 アートサロン毎日(竹橋)
- 3) 出品者 前衛作家(23名、内一大作4名)
- 4) 出品料 1万円
- 5) 出品締切り
- 6) 作品下見 令和6年7月22日(月) 14時～
- 7) 研究会 令和6年10月12日(土) 11時～

2 『公2』「書」に関する人材養成事業及び講習会、講演会の開催

「書」に関する人材養成については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1) 月例競書、昇段級試験

幼稚園児、小学生、中学生及び高校生以上一般を対象に月例競書、春秋2回昇段級試験を実施する。課題及び結果は【3「書」に関する出版物の刊行】事業の月刊「書道芸術学生版」、「書道芸術」に掲載する。

(2) 「書」に関する講習会、講演会の開催による普及活動

「書」に関する講習会、講演会の開催による普及活動については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1) 令和6年度書道芸術院講習会（単位認定）

- 1) 開催時期 令和6年8月18日（日）
- 2) 開催地 岡山県倉敷市環境交流スクエア 水島愛あいサロン
- 3) 対象者 本院会員及び一般書道愛好者
- 4) 募集定員 80名程度
- 5) 主管 山陽支局

(2) 令和6年度書道芸術院講習会（単位認定）

- 1) 開催時期 令和6年10月20日（日）
- 2) 開催地 東京都 共和会館
- 3) 対象者 本院会員及び一般書道愛好者
- 4) 募集定員 60名程度
- 5) 主管 本部

(2) 講演会の開催

- 1) 時期 令和6年11月23日（土・祝）（書道芸術院 創立記念日）
- 2) 会場 東京上野 精養軒 13:30～から
- 3) 参加者 本院会員及び一般公開
- 4) 募集定員 120名程度
- 5) 講師 伊藤 滋 先生（木鶏室）

(2) 講演会の開催

3 『収1』「書」に関する出版物の刊行

「書」に関する出版物の刊行については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1) 月刊「書道芸術」

「書」に関する調査研究、書の月例競書作品、昇段級試験の応募要領、

結果等を載せた機関誌を発行する。

編集長 下谷洋子

編集担当者 佐藤希雲

(2) 月刊「書道芸術学生版」

幼稚園、小学生、中学生の月例競書作品、昇段級試験の応募要領、結果等を掲載した小中学生への「書」の普及を主とする機関誌を発行する。

編集長 下谷洋子

編集担当者 種谷悠輝

4 『他 1』 その他本院の目的を達成するために必要な事業

- 1) 事務能率改善
- 2) ホームページの運用
- 3) 総局・支局による「書」の展覧会などの開催、普及活動
- 4) 他の団体が行う展覧会への出品の支援等
- 5) その他